

4年
4
解説

式による表現

____年 ____組
名前

$$70 - (13 + 8)$$

() のある式では、() の中をひとまとまりとみて、先に計算します。

$$70 - (13 + 8) = 70 - \overset{\text{①の答え}}{21}$$

$$\underbrace{\hspace{1.5cm}}_{\text{②}} = \overset{\text{②の答え}}{49}$$

$$13 + 2 \times 4$$

式の中のかけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算します。

$$13 + 2 \times 4 = 13 + \overset{\text{①の答え}}{8}$$

$$\underbrace{\hspace{1.5cm}}_{\text{②}} = \overset{\text{②の答え}}{21}$$

$$70 - (13 + 2 \times 4)$$

① () の中をひとまとまりとみて、先に計算するので、 $13 + 2 \times 4$ から計算します。

() の中を先に計算する。

$$70 - (13 + 2 \times 4)$$

② かけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算するので、 $13 + 2 \times 4$ では、 2×4 から計算します。() の中の計算が終わったら、残りの計算をします。

かけ算から先に計算する。

$$70 - (13 + 2 \times 4) = 70 - (13 + \overset{\text{①の答え}}{8})$$

$$\underbrace{\hspace{1.5cm}}_{\text{②}} = \overset{\text{②の答え}}{70 - 21}$$

$$\underbrace{\hspace{2.5cm}}_{\text{③}} = \overset{\text{③の答え}}{49}$$

() を使った式や、たし算やひき算と、かけ算やわり算がまじった式では、計算のやくそくを使って、計算する順番を考えることが大切です。